



世田谷区社協 NEWS

第9号 2023年11月
発行 世田谷区社会福祉協議会
TEL 5429-2200
FAX 5429-2204

ふれあい・いきいきサロン

25周年

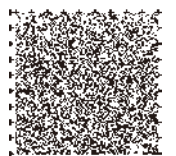


事業開始当初から活動している
かたよせ会

1998年にスタートした地域支えあい活動
(ふれあい・いきいきサロン)は、
今年で25周年を迎えました。
全国的にも居場所づくりが注目されるなか、
住民の皆さんの力で発展してきたこの活動の
歩みを年表とともに振り返ります。



世田谷区社協キャラクター
ココロン



ふれあい・いきいきサロンってなあに？

ふれあい・いきいきサロンをはじめとする地域支えあい活動は、住民の皆さんが主体的に取り組む、住民同士の仲間づくりの活動です。身近な場所で定期的に集まることで、隣近所との顔の見える関係づくりにつながります。



▲ひなの会

ふれあい・いきいきサロン

「楽しく」「気軽に」「無理なく」を基本として、お茶とおしゃべりを中心に楽しむ仲間づくりの活動です。

支えあいミニデイ

サロン活動を基本に、高齢者の心身機能の維持や寝たきり予防等を目的のひとつに加えた活動です。

子育てサロン

子育て中のパパ・ママや先輩ママたちが、情報交換や子育て相談等の交流を行う活動です。

★1998 ふれあい・いきいきサロン支援事業開始

住民の皆さんが参加する地域の福祉活動として、ふれあい・いきいきサロン支援事業がスタートしました。



職員より

当時、区内には、すでに住民の自主活動がありました。そのため、職員が手分けをして自主活動グループの方々に「なぜ活動を始めようと思ったか」「どのような支援があれば活動の継続性や効果を高められるか」など様々に教えていただきました。

一方で、新たに始まるサロン活動への懐疑的なご意見をいただくこともありました。地域に出て住民の皆さんとお話する機会を通じて、少しずつ理解をいただきながら、サロン活動が進展していきました。

”支えあえるまち”をつくることを目指しています

身近な地域に不安や悩みを相談できる人がいて、困った時は助けてもらったり、困っている人がいれば助けたりできる。サロン活動を通じて、隣近所の方と気にかける関係ができると、“支えあえるまち”をつくることにつながります。

★2000 介護保険制度施行、支えあいミニデイ支援事業開始

介護保険制度の施行により、制度の対象外となる方がでてくるのが予想されるなかで、心身機能の維持や寝たきり予防を目的に加えた活動として、行政との協働により、支えあいミニデイ支援事業がスタートしました。

★2001 子育てサロン支援事業開始

“地域で子育て”を目指して、子育て世代の交流の場として、子育てサロン支援事業がスタートしました。

支えあいミニデイの様子

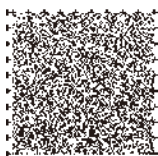


▲おとこの台所上馬

子育てサロンの様子



▲おおきくなあれ



★2002・2004 第1回・第2回ふれあい・いきいきサロン全国サミット

サロン活動への関心が高まるなか、サロン活動を活発に展開していた世田谷で「ふれあい・いきいきサロン全国サミット」を開催し、サロン活動の意義や価値を全国に向けて発信しました。

★2010 地域支えあい活動拠点 全23拠点開設(当時)

ふれあい・いきいきサロンの活動場所として、区内23箇所に活動拠点を開設していきました。



職員より

サロン活動の継続のために欠かせない会場を確保するため、行政から協力を得て、地域支えあい活動拠点を開設していきました。事業開始当時は高齢者施策が第一の時代でしたから、時代の波と合致していたのだと思います。



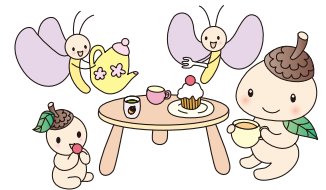
▲宇奈根ふれあいの家

★2012 活動団体数は右肩上がり増加

1998年には57だった団体数が2012年には703団体に増え、急速に区内で展開していきました。(ふれあい・いきいきサロン528団体、支えあいミニデイ81団体、子育てサロン94団体)

★2019 活動団体数は743団体へ

ふれあい・いきいきサロン578団体、支えあいミニデイ70団体、子育てサロン95団体となり、団体数は最多となりました。



職員より

当初は今と比べるとボランティア活動が一般的ではなく、一部の人がやるものという認識の方が多かったと思います。

そのようななか、特別なことをするのではなく、近所のご高齢の方とお茶をしながら世間話をするのがボランティアになる、地域活動になるということを、住民の皆さんにお話していきました。

まずは「気楽にできる」という意識を持っていただくことから始まり、そこから急速に活動団体が増えていきました。

★2020・2021 新型コロナウイルスの影響で活動が制限

対面・集合型の活動が大きく制限されました。しかし、開催場所を工夫したり、オンラインや電話、お便りを活用するなど、つながりを絶やさないための取り組みが数多く生まれました。

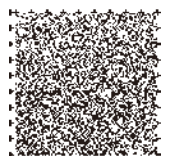


職員より

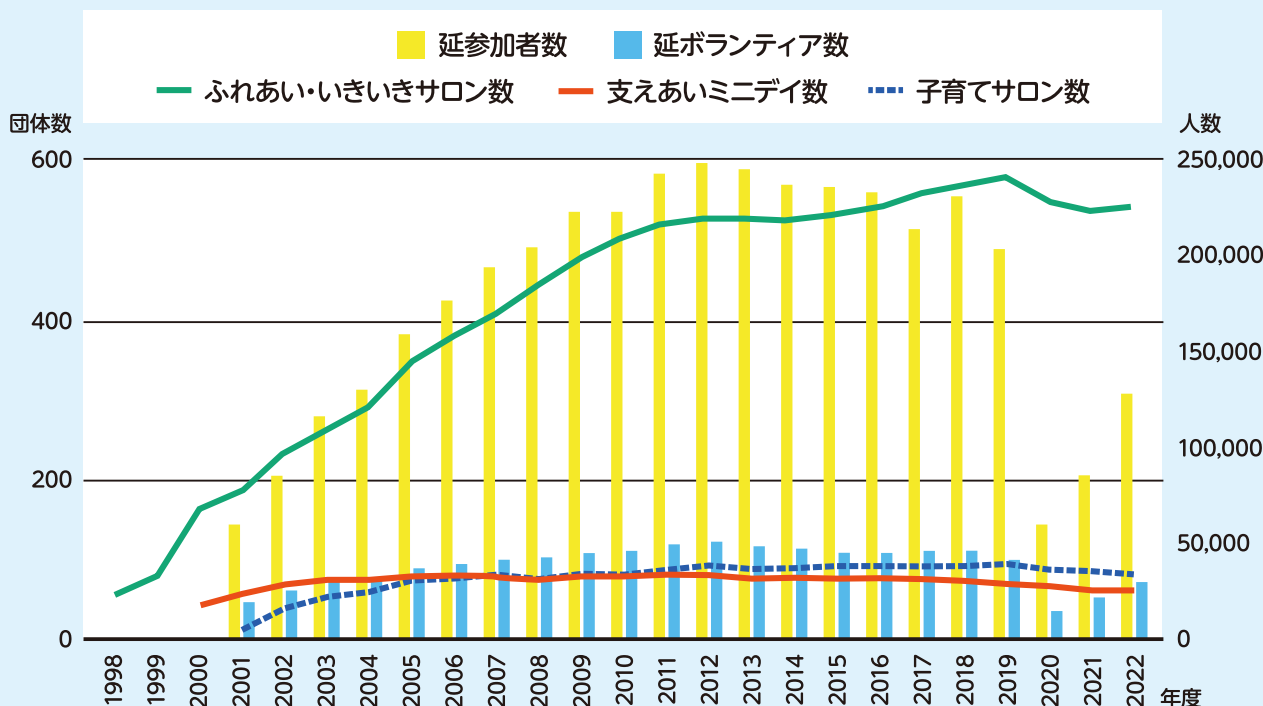
当初ふれあい・いきいきサロンなんて本当にできるのかという気持ちもありましたが、あれよあれよという間に区内全域に展開していき、住民の皆さんのパワーを非常に強く感じました。

皆さんの地域への関心や、良くしていきたいという想いの強さに驚かされましたし、それが社協職員としての原動力になっています。

地域福祉を推進する責務のある社協にとって、主役は住民の皆さんです。社協職員は、様々なコーディネーターや情報収集・共有などを通じて、皆さんの活動をいかにサポートできるか、昔から変わらず大切にしていきたいです。



ふれあい・いきいきサロン	542団体
支えあいミニデイ	62団体
子育てサロン	82団体
総団体数	686団体
	(2023年3月末時点)



活動団体数と参加者数・ボランティア数の推移



職員より

現在、制度や分野、「支える側」「支えられる側」という関係を超えて、住民同士がつながり、一人ひとりが生きがいや役割をもって暮らしていくことのできる「地域共生社会」の実現が求められています。ふれあい・いきいきサロン（地域支えあい活動）は、この住民同士のつながりづくりを基盤としており、地域共生社会の実現に向けた取り組みを先取りしていたと言えます。住民同士が身近なまちで顔馴染みになり、思いあい、そして支えあう。日常的な関係は、災害時においても大きな力を発揮します。世田谷区社会福祉協議会は、サロン活動の参加・運営の支援や、サロンスタッフが把握した参加者の変化や福祉的ニーズへの相談支援を通じて、住民主体の地域福祉の推進に取り組んでいます。

ふれあい・いきいきサロン25周年に寄せて



会長 吉村 俊雄

新型コロナにより、私たち住民同士の交流機会が突然奪われ、様々な制約を受ける期間が長く続いたことで、孤立が深刻化しました。事業開始からの25年間、困難のなかでも、地域の支えあい活動を通じて住民同士のつながりを紡いでこられた皆様に、心より敬意を表します。社会福祉協議会の使命である地域福祉の推進に向け、その象徴とも言えるふれあい・いきいきサロン活動の更なる発展のため、社協一丸となって努めて参ります。

